

## 神経内科では

### 「悪性腫瘍患者における脳梗塞発症について」 を研究しています

医療の向上のため、患者さんの診療録（カルテ）情報を調査・観察させていただくことがあります。

#### 脳梗塞とは・・・

脳の血管に血栓（血のかたまり）が詰まり、脳細胞が壊れる病気です。一般的には動脈硬化症が原因となることが多いですが、一部のがん患者さんではがん細胞の影響で血液が固まりやすくなり、血栓ができやすくなっていることが知られています。



#### この研究で分かることは・・・

これまでがん患者さんに生じる血栓症（血栓ができて血管に詰まること）は静脈についての報告が多く、動脈に血栓が詰まる脳梗塞についての研究は積極的に行われてきませんでした。そのため本当にかん患者さんで脳梗塞が増えるのかどうかは現在でも明らかではありません。

またがん患者さんが血栓症になると、治療のために血液を固まりにくくする薬（抗血栓薬）を使わなければなりません。そのためにかん自体の検査や治療が困難になったり、がんの組織から出血したりすることがあります。

この研究によってがん患者さんの臨床情報を分析することができると、

- ・ 本当にかん患者さんに脳梗塞が生じやすいのかどうか分かる
- ・ どのようながん患者さんに脳梗塞が生じやすいのかどうかについての情報が得られる
- ・ 血液を固まりにくくする薬（抗血栓薬）の使用について適切な判断ができるようになる

などが期待できます。

この脳梗塞がかん患者さんに生じやすいかということ判断するには多くの患者さんの臨床情報が必要で、患者さんを診療し検査することで得られた情報を、研究に役立たせて頂きたいと思い、お願い申し上げます。

具体的には、すでに当院で院内がん登録をされた患者さんについて、病気の経過など問診で患者さんから伺った情報や診察および血液や画像、病理検査の所見を使わせて頂きます。

※この研究の成果は、個人情報保護した形で学会や論文で発表されることがあります。

※この調査は、「ヘルシンキ宣言」および厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」「がん登録事業の取扱いについて」に従って倫理委員会の承認の下で実施されます。

#### 対象と調査期間

調査の対象となるのは、2008年1月1日～2010年12月31日の間に当院でがん登録をされた患者さまの情報です。調査を行う期間は、2014年4月1日～2014年12月31日です。

#### 個人情報の保護について

患者さまの個人情報を守ることは「個人情報の保護に関する法律」に定められています。あなたの氏名などの個人を特定する情報は調査の対象とはならず、一切公表されることはありません。

#### この研究へのご協力について

本調査に同意されない方は担当医までお申し出ください。同意されないことをお申し出になられた場合でも、そのために治療を変更するなど、治療上の不利益を受けることは一切ありませんのでご安心ください。また、一旦同意されたあとも、同意されない旨の申し出はいつでもできますので、担当医までお申し出ください。

研究実施責任者：

京都府立医科大学 大学院医学研究科 神経内科学 教授

水野 敏樹

ご意見、ご質問などがある場合は担当医または下記窓口までお問い合わせください。

調査に関する問い合わせ窓口：神経内科医局（平日9時～17時） 学内講師 笠井 高士 TEL(075)251-5793

京都府立医科大学付属病院